

公益社団法人日本技術士会鹿児島県支部

第42回CPD講演会（九州本部CPD・建設系CPD登録済）

(1) 14:00~15:15 (B-7)

九州本部 2405182801B-7

『技術者倫理とエシックスアセスメントの提案』

堀田 源治 氏（九州工業大学客員教授・博士（工学）・技術士（機械））

(2) 15:30~16:45 (A-1-1)

九州本部 2405182802A1-1

『地域インフラを次世代につなげるために今できること』

審良 善和 氏（鹿児島大学理工学域工学系准教授・博士（工学））

日時：2024年5月18日（土） 14:00~16:45（途中休憩15分）

会場：かごしま県民交流センター大研修室1（3F）

会費：日本技術士会会員 1,000円

非会員 1,500円

新合格者・大学生・高専課程生 無料

CPD単位：2.5単位

定員：80名（先着順）

：今回は、オンラインによる聴講申込みは、ありません。

【参加者条件】

② 事前予約者のみ参加できます。

② 講演中のマスク着用は任意です。

申し込み締め切り 5月10日（金）12時

\* 申込定員に達した時点で募集を締め切ります。

\* 参加確定者には、5月12日（日）に参加案内及び注意事項をメール配信

【第42回CPD講演会等申込み先】

鹿児島県支部HP、下記URL、または  
右記QRコードから申し込んでください。

<https://forms.gle/4qeaCVboJfz5bWPXA>



## 講演概要

### ■講演（1）

講演タイトル：「技術者倫理とエシックスアセスメントの提案」

講師：堀田 源治（九州工業大学客員教授・博士（工学）・技術士（機械））

#### 講演概要：

JABEE（日本技術者認定機構）が掲げる教育目標に「技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、技術者が社会に対して負っている責任などを理解する」とあり、これが技術者倫理教育の目標とされる。この目標のポイントは「社会への責任についての気づき」と解釈される。しかし、実際の教育現場においては、ほとんどの技術者倫理教育は教員による座学でのトップダウン教育であり、社会への責任について学生が理解できているとは言い難い。そこで、筆者らは工業高等専門学校、大学の技術者倫理教育の時間にフィールドワークによる「社会への責任についての気づき」についての実習を行ったので、技術者倫理教育を考える事例として実習の結果について報告をする。

#### キーワード

技術者倫理・実践的技術者倫理教育、公衆の声への気づき

### ■講演（2）

講演タイトル：「地域インフラを次世代につなげるために今できること」

講師：審良 善和（鹿児島大学学術研究院理工学域工学系准教授・博士（工学））

#### 講演概要：

日本のインフラの多くは高度成長期に集中して建設され、概ね充実した社会基盤が構築されている中で、その当時に建設されたインフラの老朽化が深刻な問題となっている。持続可能なまちづくりを確立し、次世代につなげていくためには、老朽化施設を含むインフラを維持または更新していく必要がある。限られた予算や働き手の中で、膨大なインフラを維持することは非常に困難である。

このような現状の中で、講演者は、より効率的で効果的な維持管理を社会実装することが必要であると考え、維持管理に関わる研究活動を行っているところである。

講演では、インフラの維持管理に関する研究成果を紹介するとともに、今できることを聴講者と共有する。

#### キーワード

インフラ施設、維持管理、点検、対策